

## 資料4

### 裾野市内循環線バスの利用状況について

(裾野市地域公共交通活性化協議会)

#### 1. 裾野市内循環線バスについて

「裾野市内循環線」は、令和3年度に廃止となった東急線及び「すそのーる」の担っていたサービスを継続する新たな路線として、令和4年4月1日から開始した。令和6年10月に利用者との対話集会での意見等をもとにルート及び時刻の再編を実施した。令和8年度末で国庫補助が終了するため、補助終了後の市内のバスの在り方について検討することが重要である。

#### 2. 運行にかかる費用

・前回会議において、以下の確認事項が示された。

「サービス継続のために維持している路線であり、今後も維持可能かどうかが重要である。総運行経費が利用者一人当たりいくらかかっているかを確認してほしい。バスの必要性及び存続を考える上で、把握しておくべき情報である。」

令和6年度に市へ提出された補助金申請内容は以下のとおりである。

・輸送人員(利用者数):10,905人

項目	経常費用	経常収益	経常損益	国補助	市補助
内容	運行にかかる費用	運賃などの収入	費用-収入	国からの補助金額	市からの補助金額
金額	8,999,073 円	2,311,161 円	6,687,912 円	3,343,000 円	3,343,000 円
1人あたりの金額	825 円		613 円	307 円	307 円

#### 3. 利用状況把握

モビリティ勉強会内のデータ分析を実施している。

トヨタ自動車(株)未来創生センターの和田氏より、利用者数比較と乗降調査について説明。